

学校評価／自己評価

当校では、年度目標や取り組み等の達成状況を評価し、その結果をもとに学校運営の改善を図るとともに、教育水準の向上を図ること等を目的として、各年度末に教職員による学校評価（自己評価）を行っています。

I 自己評価

(1) 評価内容と項目

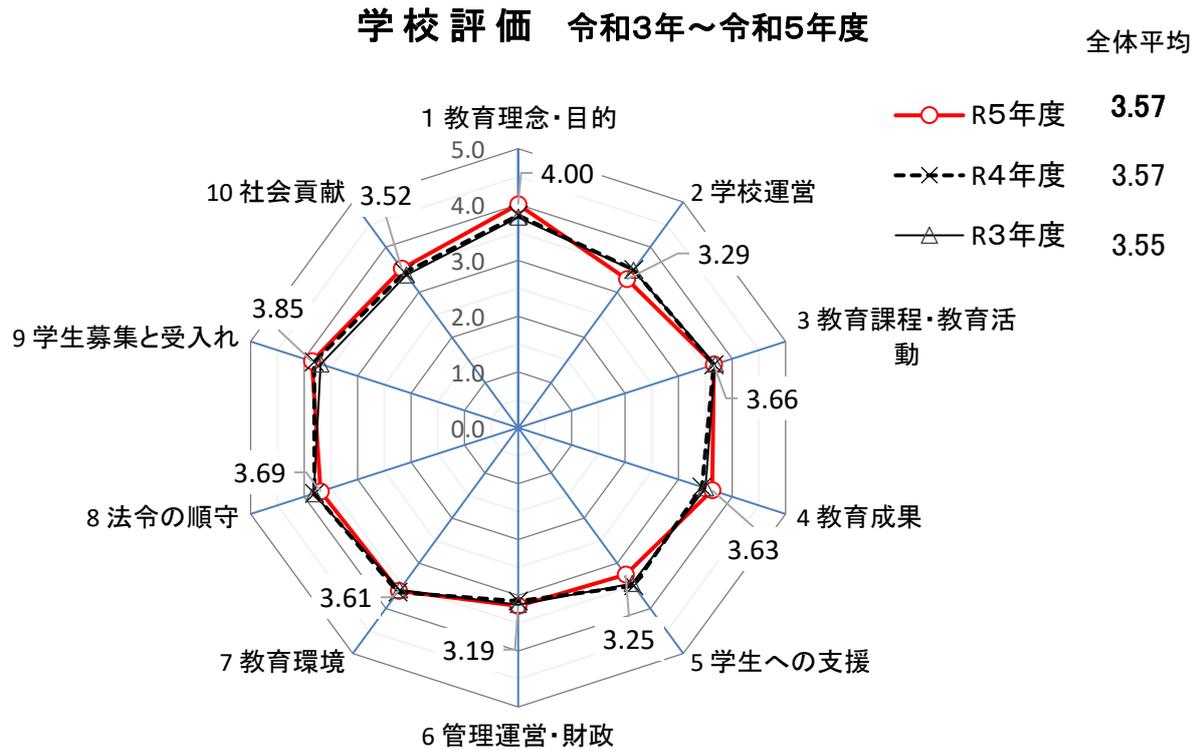
評価項目	細目内容	
1. 教育理念・目的 (3項目)	①年度目標の策定 ③学校独自の特徴	②教育理念・目的・育成人材像
2. 学校運営 (7項目)	①学校運営方針 ③運営組織や意思決定機能 ⑤業務の効率化 ⑦意思決定システム	②年間の事業計画 ④人事や賃金での処遇に関する制度 ⑥教育会議の機能
3. 教育課程・教育活動 (10項目)	①カリキュラムの編成 ③修了認定のための評価基準 ⑤インシデント・アクシデントの分析 ⑦学生による授業評価 ⑨資格取得の指導体制	②実習目標に沿った病棟の選択 ④実習における患者への倫理的配慮 ⑥実習指導者と教員の役割と協力 ⑧成績評価・単位認定基準実 ⑩職場内研修
4. 教育成果 (4項目)	①就職率の向上 ③退学率の低減	②資格修得率の向上 ④卒業生・在校生の活躍及び評価
5. 学生への支援 (5項目)	①学生の心身面での健康管理 ③課外活動に対する支援体制 ⑤学生の経済的側面に対する支援	②学生生活、進学、就職に関する相談 ④保護者との連携
6. 管理運営・財政 (4項目)	①予算計画、年間事業計画 ③中長期的な学校の財務基盤の安定	②災害など非常時の危機管理体制 ④財務の会計監査の実施
7. 教育環境 (3項目)	①校舎の耐震性・バリアフリーの整備 ③学生のためのスペース	②施設・設備・教材などの整備と活用
8. 法令の順守 (3項目)	①法令、設置基準等の遵守 ③自己点検・自己評価の実施と問題点の改善	②個人情報の保護
9. 学生募集と受入れ (4項目)	①学生募集の適正化 ③入学選考基準の公平化	②学校評価の公表 ④学納金の妥当性
10. 社会貢献 (4項目)	①地域社会への貢献 ③学生のボランティア活動	②地域との協力関係 ④社会貢献の実施

(2) 評価尺度（5段階ポイント）

5；良い， 4；やや良い， 3；普通， 2；やや不十分， 1；不十分

(3) 令和5年度 評価結果 (令和3年度、4年度との比較)

前述10項目47細目について評価を行い、結果を集計後、各項目の平均ポイント値として整理した



IV 今後の課題

・令和5年度自己評価全10項目の平均評価ポイントは、3.57ポイントで前年と同一となった。今年度は、新型コロナウイルスが第5類感染症へ移行し、学習環境がコロナ禍以前の状況に戻る中、看護師養成所2年課程として、1年生には改正カリキュラムを導入、2,3年生は旧カリキュラムを実施し、所定の課程を修了した。看護師国家試験合格率(新卒)は、90.5%と昨年度(96.0%)及び全国新卒平均93.2%を下回り、残念な結果となった。

・評価項目では、前年に続いて「6. 管理運営・財政」が最も低く、3.19ポイント(前年3.17)となった。また、「2. 学校運営」の評価も3.29ポイント(前年3.50)へ低下している。これらは、コロナ禍以降、学生数の大幅な定員割れによる収支の悪化に起因していると考えられる。今年度、学生募集として、7年ぶりにホームページとパンフレットを更新し、准看護学校への訪問活動を実施したが、令和6年度新入生は27名で今年度の32名を下回り、引き続き収支の厳しい状況が続く。

なお、新入生数が卒業生数を上回っているため、多少の収支改善は見込まれるが、令和6年度重点課題として、新たな対策を試行・導入し学生募集活動をすすめる。

・「5. 学生支援」の評価が前年に比べて2.5ポイント低下した。細目の「教科外活動への支援」、「保護者との連携」の2項目が2ポイント台となった点が影響している。当校の場合、学生の多くが自立しているため、保護者との連携は例年低ポイントの傾向にある。教科外の支援については、例年に比べて学生の出席率が低かったことがポイント低下に繋がったと思われる。今後、教科外の有効性を見直し、その意義をこれまで以上に学生へ伝えていく。

・その他、学内での情報共有、コミュニケーションを活性化し、教職員・学生が一体感を持って次年度への課題として改善に取り組む。